

職場体験学習発表会を終えて

先週金曜日にルッチプラザで2年生の親子活動として職場体験学習発表会が行われました。全30グループ、立派な発表でした。最後に少し話をする機会をいただいたこともあり、すべての発表を、メモを取りながら聞きました。今回の職場体験学習で生徒たちが学んだことを私なりにまとめると、次の7点です。

- ・挨拶、礼儀、笑顔等、人との接し方や感謝の気持ちを持つことが大事
- ・時間の使い方や時間の大切さを学んだ（1分1秒を争う仕事もある）
- ・仕事では清潔、身だしなみや安全に気を配る必要がある
- ・仕事をしながらもチャレンジすることや学び続けることを通して視野を広げていく
- ・やりがいと責任を持ち取り組むことで、信用と信頼が生まれる
- ・資格や免許が必要な職業もあり、英語力が必要な職業もある
- ・仕事は見えないところの努力や準備が大切

すべて「そのとおり」と膝を打ちながら聞いていましたが、一方では、社会が激変する中、無くなる仕事や機械やAIに変わる仕事もあり、新しく生まれる仕事もあります。現在の中学生在が社会に出るのは約10年後です。

学習指導要領の総説の冒頭に「今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想される。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。」とあります。すでに予測が困難な時代に入っています。これまでの学習は、早く正解を導き出せる力、いわゆる情報処理力が求められてきました。基礎学力です。もちろん、今後も基礎学力、情報処理力は必要ですが、その力をベースにしながら情報編集力、学習指導要領ではそれを思考力、判断力、表現力と括り、求めています。学習指導要領で求められるというより社会が求めています。学習指導要領の議論で影響力を持っておられた藤原和博氏（東京都公立中学校で初の民間人校長 2003～2007）の「10年後、君に仕事はあるのか？～未来を生きるための「雇われる力」（ダイヤモンド社、2017）」の中の言葉を借ります。思考力・判断力・表現力は情報編集力であり、コミュニケーション、ロジカルシンキング、シミュレーション、ロールプレイ、プレゼンテーションの5つのリテラシーも求められます。今までは、高い情報処理力で正解を導ける力「ジグソーパズル型学力」が必要だったが、これからは情報編集力を高め納得解を導ける「レゴ型学力」が求められます。会の終わりに、「主体的に学ぶことの大切さ」、「仲間と合意形成し、納得解を見つける力をつける」、「自分の頭で考え、行動する力を高める」を訴えました。いつも言いますが、「好きを伸ばせ！強みを伸ばせ！興味を伸ばせ！」と声を大にして言いました。（2023.9.11）